

平成29年度

事業報告書

第 20 期

自 29年 4月 1日

至 30年 3月31日

社会福祉法人 松友会

平成 29 年度社会福祉法人松友会事業報告書

はじめに

平成 29 年度の事業活動収入は過去最高を更新した。要因としては前年度苦戦したデイサービスの稼働率の増加、小規模多機能施設の登録人数の増加と介護報酬改定で処遇改善加算（新 I）の取得が挙げられる。また事業活動支出の人件費及び人件費率も過去最高を更新し、よりシビアな経費の適正化も課題となった。

平成30年度の介護報酬改定においても厳しい状況が予想される中、新たなサービスも検討し、人材育成に最大限の力を注いでいく。

介護事業

松友会は他法人では困難なケースを積極的に受けている。そのため年々重度化が進んでいる。

特養においては平均介護度 4.4 と一昨年比べ高めとなっている。退所者は 18 名、うち 17 名の方は看取りで最後を迎えられた。終の棲家としての役割を果たし、家族からは「らの里で看取ることができて良かった。」と言ってもらい、ほぼ満足していただけた。終末期を医療施設より、生活の場であるらの里を選択していただけたことは何より有難く、職員の励みにもなった。

施設は生活の場であることを忘れず、残された時間を楽しく安心して暮らし、人生の最後を全うできるように支援を心がけている。

入所待機者は 228 名と一昨年よりやや多く 81 名の申込みがあり、他施設では受け入れられない医療ケアを必要とする方々からの申し込みは年々増えている。受け入れ可能な要因としては誠知クリニックとの連携と、介護・看護間の連携が取れているためと思われる。

法人内の小規模多機能施設、グループホーム、ショートステイ、ケアハウスにおいても処遇困難なケースの方も多く、重度化や看取り期になった場合はらの里との連携により可能な限りの支援をこれまで通り継続していく。

松友会は自立者から看取りまでのご利用者を切れ目なくサポートしていくシステムを構築しており、これら事業所が協力しあいながら介護の質を高めている。このシステムが地域及び行政への信頼へとつながり、高い稼働率を導いているとも言える。

公益事業等

3年目となる福祉有償運送事業「移送サービスみつばち」は、年間の輸送距離3,283 km（前年比139%）、輸送回数982回（前年比146%）と堅調に増加した。登録車両は1台増加し10台となった。運転可能な職員に限りがあり、問い合わせは非常に多いが登録待ちやお断りするケースも発生した。重大な事故、苦情等もなく地域に必要なサービスとして定着しているが今後の課題として収益性の低いことが挙げられる。

2年目となる「のんびりハウス花たば」は、年間来所者数が延べ1,720名であった。参加者からは運動系の教室の要望が多く高齢者向けの体操やヨガ、エアロビ等を開催し好評を博した。カルチャー系の教室は、講師をボランティアに委託するなどして7種類に増加、貸しスペースも6団体が定期的に利用しサークル活動も活性化してきた。法人内職員が月替わりに講師となる介護教室も常に満席となっている。

また伊勢原東部地域包括支援センターの窓口としても相談件数が増加しており、地域包括ケアシステムの拠点として順調に定着しつつある。

人材採用

平成30年3月31日現在、当法人の職員数は180人（前年173人）である。退職者は7人（正職員4人、非常勤職員3人）で離職率は3.8%（前年9.2%）（全国平均離職率16.7%平成27年）となり離職率は大きく低下した。要因としては定期昇給、処遇改善加算等での待遇の向上や個人面談で目標の明確にして評価を数値化したことによるフォロー体制の強化が考えられる。さらに松友会では職員のモチベーションを高め、さらに維持していくために、一人一人のスタッフの提案を前向きに取りあげ成功体験へとつなげている。

入職者は14人（前年13人）で正職員が5人、非常勤職員が9人であった。大手求職サイト登録、合同説明会参加、紙媒体及びインターネットを利用し求人広告実施した。特に法人独自に作成した職員参加PRビデオの効果は非常に大きかった。

修繕及び環境改善

開所14年経過した認知症対応型生活介護及び認知対応型通所介護すずらんの空調機器の入替工事を実施した。また特別養護老人ホームらんの里内のTVおよび加湿機能付き空気清浄機の買い替えを実施して環境改善を行った。

省エネ対策としてはデマンド値の目標を設定し、数値が見える化できるモニターを導入し電気料金を節約した。また節水タイプのシャワーヘッド、シャワートイレに交換し水道料金の抑制に努めた。

防犯安全対策

前年に引き続き防犯対策の強化を継続している。法人内の災害対策委員会等研修で職員の意識を高めた。また監視カメラを4台増設し計8台を稼働させている。また送迎車にドライブレコーダーを導入し安全運転に心がけている。

最後に

どんな困難なケースも断らない。可能な限りお受けすることを松友会の使命としており、常に介護の質の向上に心がけてきた。法人全体の勉強会として「笑友会」にて年6回の勉強会を、各部署でも独自に勉強会を開催、外部研修にも積極的に参加して全職員と知識を共有してきた。

現状満足することなく、向上心を忘れずに努力を続けていきたい。